

東京大学大学院教育学研究科 大学経営・政策研究センター  
2016 年度第 4 回公開研究セミナー

米国の大学における学科長  
—その位置付けと役割—

2016 年 11 月 26 日(土)

15:00～17:00

東京大学本郷キャンパス赤門総合研究棟 A200 教室



講師: ジェラルド・レテンダ教授

Dr. Gerald K. LeTendre

ペンシルバニア州立大学 教育政策学科 教授

Professor, Department of Education Policy Studies, Pennsylvania State University

Harry Lawrence Batschelet II 記念講座教授。2008 年～2016 年、教育政策学科長。比較・国際教育学の観点から幅広いテーマで研究を手掛ける。American Journal of Education 編集委員。BA (社会学、ハーバード大学・優等学位)、MA (社会学、スタンフォード大学) および PhD (教育学、スタンフォード大学)。ヨハン＝ヤコブ若手研究者賞など受賞歴多数。日本人研究者との共著書も多い。現在の研究関心は、国際的な学校教員の仕事の変化や、教員の質に関する政策のグローバルな普及の問題など。

米国大学のガバナンスやマネジメントが大学関係者の関心を集めています。その中で、ミドルマネジメントに位置付く学部長(Dean)や学科長(Department Head/ Chair)はどのような役割を果たしているのでしょうか。教育・研究の現場の主体的活動を支えつつ、それらを全学の経営とつなぐポジションは、日本の大学でも今後これまで以上に重要性を増すと考えられます。今回のセミナーでは、ペンシルバニア州立大学で 8 年にわたって教育政策学科長を務められ、比較・国際教育学者としても著名なジェラルド・レテンダ教授をお招きし、学科長の位置づけと役割についてお話いただきます。

(講演は英語で行われ、日本語による解説が付きまます。)

<司会> 福留 東土 (東京大学大学院教育学研究科 大学経営・政策コース准教授)



\*本セミナーは公開で行われます。参加費は無料です。

\*会場への詳しいアクセスは右をご覧ください。 <http://www.p.u-tokyo.ac.jp/cg>

\*資料準備のため、参加を希望される方は **11月24日(木)**までに以下まで Email でお申し込み下さい (当日参加も可能です)。 [daikei3@p.u-tokyo.ac.jp](mailto:daikei3@p.u-tokyo.ac.jp)

<お問い合わせ先> 大学経営・政策コース事務室 TEL/FAX : 03-5841-3993